

昭和大学附属烏山病院だより

# あおぞら

〔発行責任者〕病院長 岩波 明  
〔編集責任者〕広報委員長 常岡 俊昭  
〔住所〕〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11  
〔電話〕03-3300-5231(代表)

第171号

[2021年11月30日発]

## 昭和大学臨床薬理研究所 10年のあゆみ

臨床薬理研究所 所長 小林真一

去る11月10日昭和大学上條記念館において昭和大学臨床薬理研究所10周年記念式典が開催され、理事長、学長はじめ学内外の多くの方々のご出席を頂きました。そこで、ここでは本研究所の10年の歩みを振り返り、本研究所の活動をお話したいと思います。

本研究所は2011年10月昭和大学附属烏山病院入院棟2階に「臨床薬理研究センター」として開設され、2014年に現在の「臨床薬理研究所」と呼名変更されました。本研究所は当初より44床の研究専用ベットを有し、その頃、わが国にはないアカデミアの臨床



研究施設として広く注目を集めました。とはいえ新しい医薬品開発の治験を実施するためには製薬企業との連携が必要で、適正に治験、臨床試験を実施するためには関連法規等々の順守が求められました。また治験、臨床試験を実施するための医師、看護師（CRC:臨床研究コーディネーター）、薬剤師、検査技師、さらには事務職員等々の協力が必要で、実際の第I相試験（初めて人に医薬品候補を投与する試験）では、重篤な副作用発生に対処するため昭和大学病院の救命救急医に研究所で待機してもらい万全を期しました。おかげでこれまでの10年で救命救急医が活躍する事態にはなっていません。

2014年から始めた第I相試験は世界で初めて人に投与する血友病の治験薬で、日本人に加え白人の被験者を対象として実施されました。そのデータにより米国食品医薬品局（FDA）より画期的治療薬として、その後優先的に開発がすすめられ、すでに血友病患者さんの治療、QOL改善に貢献しております。このことは我々、大学の研究者として研究業績と社会貢献ができた嬉しく思っております。

2016年には臨床免疫腫瘍学寄付講座（現：臨床免疫腫瘍学部門）、2018年には臨床腫瘍診断学寄付講座（現：臨床腫瘍診断学部門）が研究所内に設置され癌免疫に関する最先端の研究をしており、将来、癌が治療可能な疾患となるように日々努力しています。2021年より研究所内に薬学部臨床薬学講座臨床研究開発学部門も開設されました。

10周年を迎え大学の統括研究推進センター、大学病院・附属病院の臨床研究支援センター・支援室、さらには医系総合大学として昭和大学医学部、薬学部、歯学部、保健医療学部の研究者とも連携をはかり新しい医薬品開発、新しい治療法開発のための臨床研究を実施し、さらなる医療への貢献と人材の育成に努力したいと考えております。

# 心理教育プログラム再開に関して

リハビリテーション室 佐藤範明 中野雄太郎

心理教育とは、精神障害やエイズなど受容しにくい問題を持つひとたちに、正しい知識や情報を心理面への十分な配慮をしながら伝え、病気や障害の結果もたらされる諸問題・諸困難に対する対処方法を修得してもらうことによって、主体的な療養生活を営めるよう援助する技法とされています。

対象者が自ら抱えた困難を十分に受け止めることが出来るよう援助すると共に困難に乗り越える技術を修得することで、現実に向き合うことが出来る力量(エンパワメント)、困難に解決できるという自信を身につけること、自己決定・自己選択の力を身につけること、リハビリテーションプログラムなどの援助資源を主体的に利用できるようになること等を目指します。

心理教育では、メンバー間の双方向的な力も重要とされており、人が集まり時間や意見を交わすことで、希望を持てたり、受容される体験、情報の伝達、安心感を得るといった、1対1では得られない効果も期待されます。

当院では入院患者さんを対象に地域生活心理教育プログラム、併存性障害治療プログラム（併存性障害とは統合失調症や躁うつ病などの精神障害とアルコール・薬物乱用という2つの問題を同時に併せ持つ障害）を毎週運営しており、コロナ禍の状況緩和に応じてプログラムを部分的に再開しました。



現在、地域生活心理教育プログラムでは主に統合失調症患者さんを対象に全8回のプログラムを火曜日午後に作業療法室で実施しております。コロナ禍で全病棟の対象者が一同に揃うことは叶わないため、現在は急性期病棟であるA3・A4病棟を対象に縮小した合同開催となっております。運営も本来は医師・看護師・薬剤師・臨床心理士・管理栄養士・精神保健福祉士・作業療法士・地域職員の多職種でリレー形式にプログラムを実施していた所ですが、現在は看護師・作業療法士・地域職員を中心にプログラムを行い、対象となる皆様に心理教育を提供しております。

併存性障害治療プログラムに関しても、主にアルコール依存症、薬物依存症、ギャンブル依存症の患者さんを対象に全8回のプログラムを金曜日午後にセミナー室で実施しております。1月からはダルク様、すとおりの様によるオンラインでのプログラムも予定しております。

コロナ禍で従来のような形式への再開の目処は現在立っておりませんが、段階的にプログラムも復元し、皆様にとって有意義な物となるよう運営に努めていきたいと考え、スタッフの皆様、参加者の皆様で素敵なプログラムにしていきたいと思います。

## 永年勤続 25 年表彰者

この度、永年勤続 25 年の表彰をしていただき、ありがとうございます。私の教育・研究活動の拠点としている臨床薬理研究所も本年、設立 10 周年を迎えました。今後も臨床薬理学教育とともに、昭和大学からの画期的新薬の創出とエビデンスの発信のため、医薬品開発ならびに臨床研究の推進に尽力していく所存です。よろしくお願いいたします。

昭和大学医学部薬理学講座(臨床薬理学部門) 教授 内田 直樹

25 年間の勤続表彰ありがとうございます。第一口腔外科でスタートし、ヴェルツブルク大学留学(病院長と同じだった事を知ってびっくりしました)、口腔外科、昭和大学病院、烏山病院、地域連携歯科、藤が丘病院、そして 4 月から再び烏山勤務となりました。現在も窒息、誤嚥防止のために「認知症(現高齢者)病棟については基本的に全員、他病棟においては食事形態の変更の際(パン食希望も含め)には必ず歯科に依頼する。」というシステムが継続されており、非常に嬉しく思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

歯科・歯科口腔外科 講師 松浦 光洋

永年継続の表彰を頂き誠にありがとうございます。

25 年を振り返りますと、長期入院の患者さんの転院時の涙のお別れや新棟のお引越し、オープニングスタッフだった患者さんの入っていない C3 病棟の勤務・昭和大学臨床薬理研究所での First in Human 試験等・・・貴重な経験をさせて頂き、沢山の皆様にご支援、ご指導を頂いた 25 年間でした。心から感謝しております。これからも驕ることなく精進して参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

A4 病棟看護師 眞野 三奈子

この度は表彰していただき、身に余る光栄と感じております。誠にありがとうございます。

私は昭和大学病院と看護専門学校での勤務を経て、烏山病院は 3 年目になります。この間、進学や短期留学なども経験させていただきました。そして長い年月の間に多くの方々と出会い、支えていただきました。心より感謝申し上げます。

これからも「至誠一貫」の建学の精神を意識し、努力してまいりたいと思います。変わらぬご指導をお願い申し上げます。

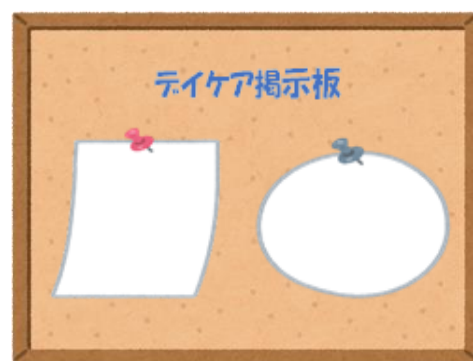
外来看護師 大森 真理

## デイケア 委員会活動より

Qさん

広報情報委員のQと申します。11月まで、掲示物の作成等を主とする広報委員会と、求人や委託訓練情報の掲載を行っている情報委員会は、互いに人数が少ないことから、統合され広報情報委員会となっていました。私は広報委員と情報委員のどちらにも参加した経験があるため、なんとか問題なく活動ができておりました。現在は人数も増え、広報委員会と情報委員会に分かれています。

広報委員会で長い間少しずつ進めていた、外来の一階に掲示されている、デイケア掲示板のつくりなおしの目途が立ち、もうすぐお披露目ができそうです。そのためにも誠心誠意、委員会活動に取り組んでまいります。作成にあたって、メンバー同士の意思疎通や情報共有に苦労しました。デイケア掲示板にはデイケアの概要について掲載しております。完成しましたら、是非とも、一度ご覧になってください。



### 総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

受付：月曜日～金曜日・8時30分～17時

土曜日 8時30分～13時

電話：月曜日～金曜日 03-3300-5329

土曜日 03-3300-5231

◎初診受付：月曜日～土曜日・8時30分～11時

◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始

《11月》 入院(前月) 外来(前月)

◆延患者数 8,420(8,874) 5,655(5,959)

◇一日平均患者数 280.7(286.3) 245.9(220.7)

◆診療実日数 30(31) 23(27)

### 【編集後記】

2021年もあとわずかです。皆さんはどんな年でしたか？いまだ帰省もできず、家族や友達との再会ができていない方も多いと思います。長引く新型コロナには、命の尊さや思いやることの大切さを改めて考えさせられました。まだまだ安全とは言えない世の中ですが、互いに支え合いながら安心できる日常が来る日まで乗り越えていきましょう。寅年もどうぞよろしく願いいたします。

(広報委員 菅野)

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は [k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp](mailto:k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp) となります。

